

消費者ニーズに合った大玉生産で産地維持と経営安定

■春メロンは、「アンデス」「フェスタ」「イエローキング」の3種を販売しました。品質良好で4L以上の大玉出荷ができ、高単価を維持することができました。インターネットを活用した販売にも取り組み、販路の確保と販売機会の拡大を図りました。

■秋メロン(抑制メロン)の品種は「アールス」。10月中旬から11月中旬までの短期間出荷。品質良好で前年並みの販売ができました。

■次年度は、生産面では作型による適期播種、生産履歴の徹底、つる割病耐病性品種の栽培体系の確立、フェスタメロン2番果収穫による収益性の向上などを図ります。販売面では、消費地に対し迅速かつ正確な生産出荷情報の提供で有利販売につなげ、安定供給体制の確立で産地の信頼性を高めます。



古荘部会長あいさつ

新部会長に池田さん



あいさつする
池田新部会長

役員改選があり、部会長に池田一郎さん、副部会長に本田真也さんが就任しました。女性部長に栗原三枝子さん、副部長に早田仁美さんが再任。部会員17戸。高品質、大玉出荷で、メロン産地の維持と農業経営安定を図ります。

〈表彰〉

春作の部

販売高賞: 古荘正光

反収賞: 後藤秀孝

宮崎文昭

古荘正光

秋作の部

販売高賞: 池田一郎



椎茸部会 第37回総会 R8.9.9

旨味と香りの良い原本椎茸を届けます



中村部会長あいさつ

■令和7年度産「秋子」は、10月下旬の冷え込みと11月上旬にかけての降雨の影響により、生育が遅れ、その後は降水量が少なく収量減となりました。「春子」は、1月の平均温度が低く降水量が少なく発生が遅れ、その後も低温・少雨で収穫は伸び悩み、全国的に厳しい作柄状況となりました。

■令和8年度は、気象変動に対応しながら、栽培管理の徹底に努め、旨味と香りの良い原本椎茸を届けます。

〈表彰〉 ※乾燥椎茸共販優良者を表彰(令和7年9月～令和8年8月)

1位: 緒方利博 2位: 中村和幸 3位: 山中今朝利

◆椎茸豆知識◆

- 「春子(はるこ)」は、2月から5月頃まで収穫。寒い時期にゆっくり育つため身が締まって肉厚。「秋子(あきこ)」は、10月～12月頃まで収穫。あたたかい時期に育つので成長が早く香りが高い。
- 「生しいたけ」は、水分が多く、柔らかく香り控えめ。網焼き、炒め物、天ぷらなど、幅広い加熱料理に向いています。「乾燥しいたけ」は、乾燥させることで細胞が変化し、旨味成分やビタミンDが増え、食物繊維も多く含まれます。煮物、スープ炊き込みご飯など、旨味を効かせた料理に最適です。

スイートコーン部会 第36回総会 R8.9.18

新品種「プレミアム味来」に期待



矢野部会長あいさつ

■部会員は13戸で20haを栽培。新品種「プレミアム味来」は、地域に合った食味のいいものを作りたいとの熱い思いでたどり着いた品種。令和8年度は、部会栽培の7割をこの品種に切り替えました。他に「ドルチェドリーム」も栽培。新たな「プレミアム味来」の品種の試験栽培や、作業効率化を図る資材導入などにも積極的に取り組みます。役員改選で矢野圭介部会長が再任し「少ない部会員数でも新品種の導入など、販売戦略にも取り組んだ。県内最大のスイートコーン産地であることを多くの人に伝え、皆で努力し産地を守っていこう」とあいさつしました。